

《月山なめこ栽培による安全安心・循環プロジェクト》

市町村	西川町	対象地域	西川町内	分野	林業
実施主体名	きのこハウス西川 生産組合	代表者氏名	佐藤隆文	住所又は主たる事務所の 所在地・連絡先	西川町大字間沢74- 1 TEL0237-74-3127
実施主体構成	同じ地域内の異業種の人たちで、きのこ栽培を研究しながら栽培している組織 5 名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	20,000,000円（16,800,000円）				
	独自の目標項目	なめこ菌床 5,000個 → 20,000個 生産量 4,000kg → 20,000kg				
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）
産出額	3,200,000円	14,000,000円	14,000,000円	20,000,000円	20,000,000円	20,000,000円
独自の 目標項目	なめこ菌床5,000個 生産量 4,000kg	なめこ菌床14,000個 生産量 14,000kg	なめこ菌床14,000個 生産量 14,000kg	なめこ菌床20,000個 生産量 20,000kg	なめこ菌床20,000個 生産量 20,000kg	なめこ菌床20,000個 生産量 20,000kg
プロジェクト 概要	◎実施方針	地域の代表的な特用林産物である月山なめこの栽培拡大により地域産業の活性化を図り、出荷・販売をと おして山村交流を推進する。				
	○産出額の増大	栽培施設規模の拡大を図り、生産量を約5倍に拡大することで産出額の増大を目指す。				
	○雇用の創出	菌床栽培の時期は10月から3月であり、農閑期である冬季間の雇用の増大を図る。 現状450人日 → H24年以降1,820人日（1,370人日増）				
	○創意工夫	使用する種菌は、もともと月山山麓から選抜し採取された天然なめこから培養したもので、粒が大きく肉 厚なのが大きな特徴である。固さもしっかりしているため、食味・食感がよく、また、香りが強く色も濃い という良質系統の栽培用種菌である。このため、一般的な菌床とは全く違う品質を持っているなめこである。 昨年からは月山なめことして出荷しており市場からの評価も高いことから、更に品質の向上と生産を拡大し ながら広く都市部に発信していく。 また、廃菌床を土壌改良剤として農業者と連携し有効活用することで安全で安心な農作物の栽培に向けて 試行していく。将来的には、有機肥料として販売ルートの確立を視野に入れ、環境循環サイクルの構築まで を検討している。				
	○実現性	現在規模が小さいながら生産活動を行っており、既に生産技術的には確立されている。また、原木自然栽 培と違い、加温・散水等の栽培管理が行き届き、天候に左右されることなく生産することが可能である。				
	○地域への波及効果	この月山なめこを地元の料亭や、きのこ祭り等に出品し、郷土料理として地元の方々や都市部から訪れた 方々に振舞うことで、地域食文化を広くPRしながら産業振興を図る。また、学校給食への食材としての採用 も検討していく。				
○その他	将来、菌床材料について、ナラ枯れ被害木等を積極的に活用することで、森林環境を守りながらなめこ栽 培を行い、また、廃菌床を土に戻すことで資源の循環を図っていく。					

事業 計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成24年度）
	事業内容	敷地整備、菌床ハウス整備、ホイールローダ導入	敷地整備、菌床ハウス整備